

瀬田川プランクトン調査結果速報

滋賀県立衛生環境センター

琵琶湖水質担当

昭和58年10月11日

第26報

植物プランクトン

(綱) 種 名	細胞数 (群体数)	優占種(占有率)	
		数	体積
(藍) <i>Aphanothece clathrata*</i>	40		
(珪) <i>Melosira granulata</i>	260		
(珪) <i>Nitzschia acicularis</i>	60		
(珪) <i>Nitzschia</i> sp.	20		
(渦) <i>Ceratium hirundinella</i>	160		○
(褐) <i>Cryptomonas</i> sp.	220		
(緑) <i>Planktosphaeria gelatinosa</i>	320	○	
(緑) <i>Ankistrodesmus falcatus</i> var. <i>mirabile</i>	40		
(緑) <i>Pediastrum biwae</i>	3840	◎	
(緑) <i>Closterium aciculare</i> var. <i>subpronum</i>	60		
(緑) <i>Staurastrum dorsidentiferum</i> var. <i>ornatum</i>	180		◎
(緑) <i>Staurastrum arctiscon</i>	20		
(緑) <i>Spondylosium moniliforme</i>	40		
(藍) 藍藻綱	40	0.8	0.1
(黄) 黄緑藻綱	0	0.0	0.0
(黄鞭) 黄色鞭毛藻綱	0	0.0	0.0
(珪) 珪藻綱	340	6.5	2.3
(渦) 渦鞭毛藻綱	160	3.0	26.7
(褐) 褐色鞭毛藻綱	220	4.2	2.1
(み) みどり虫藻綱	0	0.0	0.0
(緑) 緑藻綱	4500	85.6	68.8
(他) その他のプランクトン	0	0.0	0.0
総 細 胞 数	5260	総体積	1.80E+07
種 類 数	13	(μm^3)	

注1) 細胞数の単位は(細胞/ml)

ただし*印の種は群体数(群体/ml)

注2) 優占種は◎が第1優占種、○が第2優占種

数字は各綱ごとの占有率(単位:%)

注3) 細胞体積は、顕微鏡観察による画像から

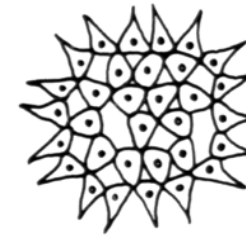
試験的に推定した概算値である。

植物プランクトン優占種

第 1 優 占 種		細胞数 (細胞数/ml)
緑藻綱	<i>Pediastrum biwae</i>	3840

第 2 優 占 種		細胞数 (細胞数/ml)
緑藻綱	<i>Planktosphaeria gelatinosa</i>	320

植物プランクトン第1優占種



Pediastrum biwae
(ピワクンショウモ)
緑藻綱

16, 32, 64細胞からなる群体を形成する。各細胞は1本の角状突起を持ち、突起同士が対をなすのが特徴である。琵琶湖の固有種とされ、ピワクンショウモと呼ばれている。

植物プランクトン第2優占種



Planktosphaeria gelatinosa
(プランクトスフェリア)
緑藻綱

細胞は球形。若い細胞は杯状の葉緑体と1個のピレノイドを持つ。厚い寒天質に包まれた群体をなす。